

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部長後公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	神尾 友美	電話	6283

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例															
事業実施内容	適切な施設・設備等の管理を行い, 利用しやすい環境を整えた。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	■ 直接実施																
	<input type="checkbox"/>	委託・指定管理 (:)															
	<input type="checkbox"/>	(:)															
	<input type="checkbox"/>	補助金・負担金 (:)															
	<input type="checkbox"/>	その他 ()															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	42 千円	印刷機用消耗品費
		使用料及び賃借料	477 千円	電子複写機及び印刷機賃借
	519 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	519 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
	519 千円			
		一般財源		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.05
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.05

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	1,132	998	981	995
	(1)現金を伴う支出 (千円)	962	999	994	1,000
	事業費(支出済額-②報酬合計)	485	517	511	519
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	477	482	483	481
	職員数(常勤 非常勤)	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	452	455	461	458
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	25	27	22	23
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	170	-1	-13	-5
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	170	-1	-13	-5
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2.69 420,619	2.35 425,105	2.29 427,501	2.32 429,317	

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公民館施設の次代に即応した整備充実は，学習機会等の提供のみならず地域の課題，調査分析能力や住民ニーズなどを的確に対応し普及振興することにつながるため，利用しやすい環境ができています。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	生涯学習拠点や学習情報拠点としての公民館施設の学習支援機能は，多機能で高度化に対応するため必要であることから利用しやすい施設として整備充実を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
21	公民館使用料に関すること	無	無	1	
24	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標	10,896	単位	11,076	単位	11,258	単位	11,317	単位
					人		人		人		人
	実績	11,100	単位	14,380	単位	7,968	単位	11,221	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,001.80	608.34	1,104.04	783.71					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	会員の高齢化等の要因により, 公民館サークルの登録取り消しが続いていることから, 自主的な活動の支援が不十分であった。
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルと連携した事業の開催を推進することにより, サークルの技術向上を支援する。 ・サークル募集等の周知を行い, サークルの活性化を促す。 ・事業開催後にサークル結成に発展するように, 助言や指導を行い, 支援する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	さまざまな分野の学習提供及び自主的な活動の場の提供を行い, 市民の多様な学習要望に応えるとともに, 幅広い年齢層の多数の市民参加を得ることで, 学習活動の支援・促進を図るといった目的は達成できた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	「藤沢型地域包括ケアシステム」や「頼りになる拠点づくり」等, 地域が今後担う役割を検討していく中で, 「地域人材を育成するための学習機会の提供」や「地域団体との協働・連携による地域力の向上」が今まで以上に必要になることから, 地域の課題を把握し, それを解決するための一助となる事業を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
25	公民館事業の企画及び実施に関すること	無	無	1	1
26	公民館の各事業に必要な経費の支出及び収入に関する事務	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------